

大山の森だより

2019年冬号

夕日に染まる雪の大山

冬の山陰は厚い雲が空を覆い、晴れ渡る空を望むのが難しい季節です。時雨たかと思えば日が差し、また雪が舞うといった回り舞台のような目まぐるしい天候の変化があります。そんな季節だからこそ、青空の元で見る純白の雪をかぶった大山の美しさは格別のものがあります。

その冬の大山の景観で特に美しいのが、夕陽に照らされた大山です。西陽によって雪が薄桃色に染まるその様は、艶やかでまた神秘的です。冬期に4、5回ぐらい、しかも陽が沈む直前の10数分しかその姿を拝めません。今冬は何度その姿が見られるのでしょうか。



秋期 自然ふれあい事業 活動報告

○秋の溪畔林を歩く。山陰の奥入瀬「木谷沢」

10月30日(水)

紅葉の木谷沢溪流をゆったり散策。トチノキやサワグルミなどの巨木の森で心癒すオルガニートの演奏もあり、秋の一日を満喫しました。



○奥大山古道ウォーク(共催事業)

11月10日(日)

かつて大山寺へ向かう参拝者が通った道歩く恒例のイベント。今年も100名を超える参加者が紅葉の映える歴史の道を堪能しました。



※12月7日の「森のリースとオブジェづくり」は諸事情により中止しました。

■大山頂上工事 冬期のお知らせ■

大山頂上(避難小屋、頂上付近木道)及び6合目避難小屋は、2019年7月から工事中です。



●頂上避難小屋より上部の木道は引き続き立入ができません。

●大山頂上避難小屋は、最低限の避難小屋として利用可能です。今冬は屋根と壁と非水洗トイレ1基があるという状況です(内装工事は2020年に予定)。そのため宿泊目的の登山はご遠慮ください。また、電灯もありませんので、ヘッドランプ等が必要です。

※左写真は2019年11月27日撮影

●6合目避難小屋は、お使いいただけない可能性があります。

詳しくは 鳥取県西部総合事務所 生活環境局 のHP(右QRコード)でご確認ください。



■自然公園財団では、季節ごとに観察会などを開催しています。

予約なしでも参加できるイベントもありますので、是非ご参加ください。

裏面にイベント情報を掲載しています。

〇 ブナのおもしろ知識 〇



ブナは北海道の渡島半島から九州までの湿潤で肥沃な山地に分布し、ミズナラと並んで日本の広葉樹林を代表する樹木です。特に北国の豪雪地帯に多く、世界遺産となった白神山地のブナの原生林が有名です。ここ大山にも西日本最大のブナ林が存在します。

ブナのおもしろ知識：名前編①

※「ブナ」の名前の由来：ブナの森を風が通り抜けるときに「ブーン」と音がすることから名前が付いたという説があります。他には材として役に立たない木なので「ぶんなげる」からとも。

ブナのおもしろ知識：名前編②

※「ブナ」を表す漢字「櫨」「栲」「山毛櫨」：現在、日本のブナに使われる「櫨」という漢字は近年作られた和製漢字。昔から使われてきた「栲」は中国ではヒノキの一種を指します。他に「山毛櫨」が使われますが、これは中国ブナの一種のこと。

ブナのおもしろ知識：名前編③

※「櫨」という漢字の由来：日本ブナは材として役に立つ木では無いことから、木へんに無で「櫨」という漢字ができました。日本生まれの漢字。

ブナのおもしろ知識：名前編④

※別名は「シロブナ」：白っぽい樹皮が美しいことからシロブナと呼ばれます。黒い木肌をしたイヌブナの別名がクロブナ。イヌブナはブナよりも寒さに弱く、太平洋側に多いです。

ブナのおもしろ知識：名前編⑤

※古名はソバノキ：ブナの果実を「ソバグリ」と言います。果実にソバ(稜角の意の古語)がある木、ソバのある栗の意から。豊作は6、7年に一度で、生で食べてもおいしいです。

ブナのおもしろ知識：名前編⑥

※木材名は「ビーチ」：ブナ材は水を大量に含んで重く、腐りやすく狂いやすい性質のため、加工技術が発達する20世紀後半まで用材として好まれませんでしたが。現在では熱を加えると曲げやすい性質を利用して家具(主に脚物家具)などに利用されています。

ブナのおもしろ知識：植生編①

※ブナは成長が遅いのですが、大きいものでは高さ30m、径1.5mに育ちます。樹齢は200年ぐらい。ブナの巨木は「森の女王」と呼ばれるような雄大で美しい姿です。日本以外にも北半球の温帯に約10種類が分布します。
※日本の都道府県でブナが自生していないのは千葉県と沖縄県のみ。大山では標高700～1300メートル付近に生えています。

ブナのおもしろ知識：植生編②

※日照が多すぎるところよりも半日陰程度の場所を好みます。
※ブナは成長が遅いため、地面に根を下ろしてから約50年から60年かけて初めて実をつけます。
※大山寺周辺では例年9月20日前後に実を落します。



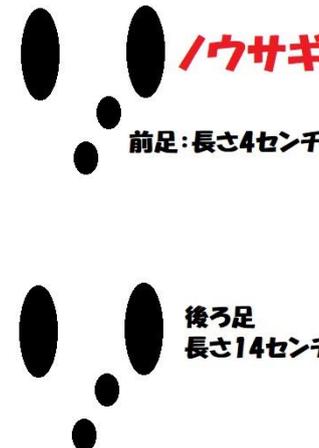
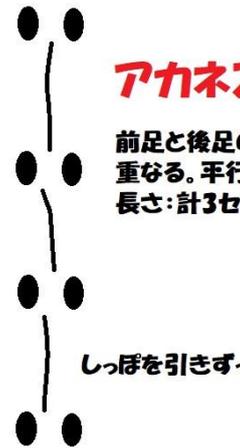
大山 冬の足跡

動物たちの行動を探ろう

冬の大山では、真っ白な雪の上に動物の足跡が残されているのを見ることができます。まっすぐ森の中に消えていく足跡もあれば、いくつかの足跡が入り交じり雪が蹴散らされていることもあります。

足跡から動物の種類がわかりますし、このような、足跡や動物の残した痕跡から、野生動物がどのような行動をしたかわかります。冬の大山の楽しみのひとつですよ。



 <p>ノウサギ 前足:長さ4センチ 後ろ足 長さ14センチ</p>	<p>ノウサギ:前足が小さく、後ろ足が極めて大きいのが特徴。ジャンプして前進するため、小さな前足が縦に並び、大きな後ろ足の跡は前足の跡の前に横に並ぶ。ニホンリスの足跡も似ているが、はるかに小さく、前足の跡が並行につく。</p>	 <p>アカネズミ 前足と後足の跡が重なる。平行につく。 長さ:計3センチ</p> <p>しっぽを引きずった跡</p>	<p>アカネズミ:小さな足跡の中央に細い尻尾を引きずった跡が残る。ヒメネズミの足跡はひとまわり小さい。</p> 
--	--	--	--

 <p>シカ 長さ:5~7センチ</p>  <p>イノシシ 長さ:5~8センチ 爪痕あり</p>	<p>シカ:二本のヒヅメ跡が特徴。歩幅は 80~100cm。本州の偶蹄類の中では最も大きいため、その歩幅も大きな判断基準となる。</p> <p>イノシシ:二本の大きなヒヅメ跡に小さな二つの爪痕が残ることが多い。</p>	 <p>テン 指は5本。 爪痕がある。 長さ:4~5センチ。</p> <p>2つずつ斜めにつく。</p>	<p>テン:前足・後足とも5本の指がある。両足をそろえてジャンプするので、左右に斜めに並んだ2対の足跡が点々と並ぶのが特徴。普通はシャクトリムシに似た走行をする。イタチはテンより足跡が小さい。</p>
--	---	---	---

 <p>キツネ 細長い 爪痕がある 長さ:4~5センチ</p> <p>前足跡と後足跡が重なる。 ほぼ直線上に並ぶ。</p>	<p>キツネ:イヌとよく似た4本指の足跡だが、側方の二指より中央の二指が前に出るのがキツネ。キツネの足跡は一直線。左右とも、前足の跡に後足の跡が重なることが多い。</p>	 <p>タヌキ 丸っこい 長さ:3.5センチ 爪痕がある。</p> <p>足跡はジグザグ。</p>	<p>タヌキ:梅の花に似た4本の指の跡がつき、ジグザグに歩く。深い雪では、足や身体を引きずった帯状の線を描く。猫の足跡に似ているが、爪痕が残っていたらタヌキ。</p>
---	--	--	--

ーイベント情報（1月～3月）ー



■自然公園財団のイベント■

<p>○スノーシューで行く大山・幻の滝(稚児滝) 開催日：1月25日(土)9:00～12:00 会場：豪円山周辺 集合場所：自然公園財団事務所前 参加費：1500円 お菓子と飲み物代を含む ※スノーシューレンタル料別途1000円 (サイズ22センチ以上対応)</p>	 <p>かつて呼瀧山と呼ばれた豪円山。その幻の滝を見に行きます。垂直の岩壁に張り付く氷が神秘的な美しさ。大山の隠れた名所です。スノーシュー歩行距離約2キロ 定員15名</p>
<p>○スノーシューで行く 願掛け地藏へ願いを込めに 開催日：2月22日(土)9:00～12:00 会場：金門・賽の河原・寂静山周辺 集合場所：自然公園財団事務所前 参加費：1500円 お菓子と飲み物代を含む ※スノーシューレンタル料別途1000円 (サイズ22センチ以上対応)</p>	<p>かなえない願いはありますか？大山に伝わる願掛けの方法で願掛け岩とそのそばに佇む地藏まで願いを込めに行きましょう。スノーシュー歩行距離約3キロ。 定員15名</p> 
<p>○大山の森で冬芽探し 開催日：3月7日(土)9:00～12:00 会場：中門院谷園地周辺 集合場所：自然公園財団事務所前 参加費：1500円 お菓子と飲み物代を含む ※スノーシューレンタル料別途1000円 (サイズ22センチ以上対応)</p>	 <p>春の気配を探しにスノーシューを履いて大山の森を散策します。膨らみ始めた冬芽やつぼみを観察し、植物たちの冬越しの知恵を学びます。スノーシュー歩行距離約2キロ 定員15名</p>

■周辺のイベント■

「大山寺節分会」

問い合わせ：大山寺(0859-52-2158)

2月3日(月)10:00～ 会場：大山寺本堂 参加費無料

大山寺では毎年2月3日に、本堂で「節分会」という法要を行っています。節分会では大般若経600巻の※転読と豆まきが行われ、邪気を払うとともに福を招き寄せます。深い雪に覆われた大山の神聖な行事にご参加ください。※転読とは、大般若経を弧を描くようにバラバラバラッと流し読む事。



一般財団法人 自然公園財団 鳥取支部 大山事業地



〒689-3318 鳥取県西伯郡大山町大山40-33
 大山ナショナルパークセンター 1階
 TEL:0859-52-2165 FAX:0859-52-2370
 URL <http://www.bes.or.jp/daisen/>

